

広報 
No.739
令和7年

いいいたて9

www.vill.iitate.fukushima.jp



いきいきわくわく学びの旅 in 北海道





ナイターならではの雰囲気を楽しみながら、皆さんの表情から走る楽しさが伝わってきます。スポーツってやっぱりいいですね！

応援したり応援されたり、仲間のラストスパートに伴走したり。アットホームな温かい雰囲気も、この大会の大きな魅力です。



雨上がりの空に
大きな虹のアーチ！



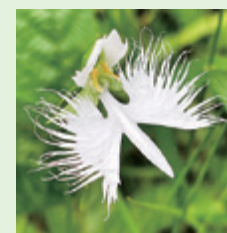
8月2日、いいたてスポーツ公園で、「いいたてナイター駅伝2025」を開催しました。4度目の開催はこれまでより1時間前倒しで午後5時のスタート。52チーム、208人が、1部（1km×4区）、2部（2km×4区）、3部（3km×4区）に分かれてレースに臨みました。

スポーツ公園の陸上競技場をスタート！ゴールに、園内の周回コースで、各チーム4人の選手がタスキをつなぎました。チームの構成は、学校、ランニングサークル、職場、市町村とさまざまです。力走する選手に家族や仲間が声援を送り、夕暮れのグラウンドにたくさんの笑顔が輝いていました。



屋内運動場での開会式。東京大学運動会応援部が選手に熱いエールを送った他、ランニング教室も行われました。

いいたてナイター駅伝2025



「村民の森あいの沢」にて。静かに羽を広げ咲いていた純白のサギソウ。

目次 CONTENTS

- 02 話題「いいたてナイター駅伝2025」
- 04 特集「いいたてつ子 夏のアルバム」
- 08 ほけんとふくし「こども家庭センター」ほか
- 09 ほけんとふくし「児童手当・児童扶養手当」
- 10 ほけんとふくし「令和7年度長寿番付」
- 12 特集2「いたいのいたいの飛んでけ！運動塾」
- 14 空から百景「いいたてオリンピック」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 22 村からお知らせ
- 24 なりわいREPORT
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてPHOTOリレー ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



いいたて希望の里学園の5・6年生が『いきいきわくわく学びの旅』へ。北海道でさまざまな体験をしました。表紙はウトナイ湖へ流れる美々川でのカヌー体験。上の写真は「えこりん村」の「とまとの森」です。P4もご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

いたてっ子 夏のアルバム

暑い暑い夏でした。皆さんはいかがお過ごしでしたか。夏休み期間もいたてっ子は、さまざまな活動に取り組んでいましたよ。飯館村ならではの子ども達の体験を、プチアルバムで紹介します。

いきいき
わくわく
学びの旅

in北海道



8月5日～8日、いたて希望の里学園5・6年生9人が学びの旅に参加しました。



菅野義樹さん(比叡)が北海道栗山町で営む「菅野牧園」を訪問。

菅野さんの講話「ないものねだりではなくあるものさがしと飯館村」。菅野さんの経験とふるさとへの思いに耳を傾け胸に刻みました。



「あるものさがし」で飯館村の素敵な所をさらに探していきたい
村の震災の経験を私達が伝えられるようにしたい



学んだこと感じたことを自分の言葉で菅野さんに伝えました。



黒毛和牛のエサやりを体験。牛の長い舌にびっくり！



命をいただいて生きていることを学びました

ファームレストランでの食事と牧場での体験プログラムで命の循環を学びました。

牧草ロールを転がし大きさを実感！

宿泊したホテルにて。



夕食後は振り返りの時間。心に残ったできごとを日々タブレットに記録しました。(9月27日に報告会を行います)



北海道の大地の恵み、海の恵みを美味しく味わう体験も！

ウポボイで見た踊りがとてもきれいだった



「民族共生象徴空間ウポボイ」でアイヌの歴史と文化を学びました。



「えこりん村」では飯館村をPR。



カヌーは団結心が深まったと思う

いろいろな動物が見られて楽しかった



ホテルのナイトプールで。盛りだくさんの活動を終えても元気元気！思い切り楽しみました。

みんなで思い出がつくれてうれしかった



「白い恋人パーク」では北海道銘菓「白い恋人」のデコレーションを体験。



野球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」を見学！



農業学習施設「クボタアグリフロント」で農業の先端技術を学びました。



飛行機の旅も貴重な経験に。無事村へ戻り、出迎えた中川副村長らに充実した旅を報告。感謝を伝えました。

いいたて希望の里学園 後期課程

9年生を対象に夏の学習交流会を開催



9年生が、学生ボランティアの学習指導を受けました。また、3日間にわたるレクリエーション企画では、他人を知り、自分を知り、自分の将来を考えるワークショップが行われました。学生が膝を交えて自身の経験を生徒に語り、幅広い進路選択を見据えてアドバイスを送っていました。

上智大学の 学生の皆さんと 交流しました



8月4日から4日間、村と協定を結ぶ上智大学の学生ボランティアが来校し9年生と交流しました。



迷いや挫折、決断の経緯などが率直に語られました。生徒は熱心に耳を傾け、「いろいろな生き方があると感じた」「高校生になって進路を考え直してもよいと知って安心した」「大学に進学したいと思った」とそれぞれに心の動きを話していました。



外部指導員が部活動指導

今年度から2人の競技経験者が、外部指導員として、顧問の先生と一緒にバドミントン部の指導にあたっています。顧問の一人、紺野江里先生は「中体連で成果が出て、部員のモチベーションにつながりました」と振り返ります。部員の生徒も「できることが一気に増えた」と練習の手応えを話していました。



本田拓矢さん(左上の写真中央)と村松里美さん(左の写真右から2人目)が、繁忙期を除き週に複数回指導に訪れます。「生徒はやる気があり一生懸命。基礎を身に付けていければ」と本田さん。生徒の名前を覚え声をかけながら指導にあたっています。

後期課程 バドミントン部 × CRSスポーツ 工業株式会社

村内に2工場を構え、世界のトップ選手が使用するバドミントン用ガットを製造する同社から、競技経験者を部活動に派遣していただいています。

学童保育 つくしんぼハウスの 夏休み



夏休み期間にたくさんの体験講座が開かれました。その一部を紹介します。

「食を考える会」の皆さんの協力で『食育教室』を開催。栄養たっぷりのランチをみんなできり味わいました。



一つひとつ表情の違うかわいらしいパンダが完成!



村内の木材を使った木工教室。渡邊富士男さん(飯樋町)に教わりパンダのネックレスを製作。

7/25



学園のプールで水泳教室。こども園の園児と一緒に高橋誠さん(飯樋町)に泳ぎ方を指導していただきました。

8/1



東急不動産株式会社による『自然学習イベント』。村民の森あいの沢で昆虫や植物を観察。地球温暖化についても学びました。

8/7



NPO法人あそびの学校・山崎茂さんを講師に『泥だんご教室』を開催。こども園の園児も参加しました。

8/5



4人の人権擁護委員さんによる『人権教室』。人権かるたなどを通して互いを思いやることの大切さについて考えました。

■ 児童手当

児童手当は、次世代の社会を担う児童の健やかな育ちを社会全体で応援することを目的とし、令和6年10月分から、支給対象者の拡大や手当の増額など制度が一部改正されました。

制度の変更点

- ❶ 支給対象年齢が、中学生から高校生年代（18歳到達後の最初の3月31日まで）に拡充。
- ❷ 所得制限の撤廃。
- ❸ 第3子以降の手当額（多子加算）が、月1万5,000円から月3万円に増額。
- ❹ 第3子の算定基準の変更。

※大学生年代（19歳になる年度～22歳年度末まで）のお子さんの生計費の相当部分の負担を行っている等の場合には、大学生年代のお子さんから数えて3番目以降のお子さんが第3子以降となります。

- ❺ 支払回数が年3回から年6回（偶数月）に変更。

年齢区分	第1子・第2子	第3子以降
3歳未満	1万5,000円	3万円
3歳～高校生年代	1万円	3万円



※支給対象児童を養育する父母等のうち、判断基準を満たす方が受給資格者になります。受給資格者が村外に住民登録している場合は登録地へ申請してください。

支給対象者は次の場合、速やかに（異動後15日以内）申請・届け出が必要です。住民課・健康福祉課窓口または郵送で必ず手続きしてください。■児童が出生した。■養育する児童が新たに増えた。■受給者が村内で転居した。■受給者が村内に転入した。■受給者が村外に転出した。■受給者が死亡した。■振込先口座を変更したい。■受給者や児童の氏名に変更があった。■受給者と児童が別居・同居することになった。■受給者が児童を養育しなくなった。■受給者が公務員を退職した。■受給者が公務員になった。※申請月の翌月分から支給開始となります。月末の出生の場合は、出生の翌日から15日以内の申請であれば、出生の翌月から開始されます。

※申請・届け出が遅れると、手当の支給されない月が生じたり、手当を返納してもらう場合があります。

■ 児童扶養手当・特別児童扶養手当

児童扶養手当は、父または母と生計を同じくしていない児童を育てている家庭や父母に代わって児童を養育している家庭の生活の安定と自立を助けるために支給されます。また、父母両者と生計が同じで父または母の心身に一定の障害がある場合も支給対象となります。

特別児童扶養手当は身体または精神に一定の障害を持つ児童を養育している家庭の生活の安定と自立を助けるために支給され、要件を満たせば児童扶養手当と両方受給することもできます。

児童扶養手当

	全額支給の時	一部支給の時
児童が1人のとき	月額4万5,500円	所得に応じて月額1万740円～4万5,490円まで10円刻みの額
児童が2人目以降の加算額（1人につき）	月額1万750円	所得に応じて月額5,380円～1万740円まで10円刻みの額

特別児童扶養手当

	支給額
1級該当児童（1人につき）	月額5万5,350円
2級該当児童（1人につき）	月額3万6,860円

申請方法や限度額など詳細は、健康福祉課福祉係にお問い合わせください。

現在受給中の方は次の場合、速やかに届け出をしてください。■対象児童が増えた。■住所を変更した。■扶養義務者に変更があった。※届け出が遅れると、受給が継続できなくなったり、手当の返還を求められたりする場合があります。

問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

お気軽にご相談ください！ こども家庭センターいいたて



「こども家庭センター」とは、妊産婦、子育て世帯、子どもを対象とした切れ目のない支援のための総合的な相談窓口です。

飯舘村では、令和7年4月1日に、健康福祉課内に『こども家庭センターいいたて』を設置しました。保健師やこども家庭支援員等が、相談をいつでも受け付けています。

妊娠や出産のこと、子育てのこと、学校でのこと、家庭のことなど、さまざまな困りごとや悩みごとに寄り添い、関係機関につなげたり、細やかな支援を行ったりします。不安や悩みを一人で抱えずに、どんな些細なことでも、お気軽にご相談ください。



こども家庭センターいいたて
飯舘村伊丹沢字伊丹沢571番地
地域活性化センター「いちばん館」
☎ 0244-42-1633（健康福祉課内）



健康福祉課の職員が相談業務にあたります。どうぞお気軽にご相談ください。ご利用をお待ちしています。

楽しい遊びがいっぱい！ 飯舘村子育て支援センター

『飯舘村子育て支援センター』は、子ども達と子育て家庭のためにつくられたアイデアいっぱいの素敵な施設。震災により長期間にわたって開所が延期され、改修を経て令和5年にオープンしました。

館内には、木製の大型滑り台が置かれたホール、絵本がディスプレイされた児童書コーナー、乳幼児向けの木製遊具を集めた部屋や和室など多様な遊び場があり、各年齢層に適した遊び道具も幅広く用意されています。

開放日についてはお知らせ版やチラシでご確認ください。その他、子育て関連のイベントや相談会の会場としても活用しています。



飯舘村子育て支援センター

飯舘村飯樋字町483番地
☎ 0244-42-1633（健康福祉課福祉係）



ご長寿を祝して

令和7年度 長寿番付

91歳以上の方の長寿番付の発表です！この番付の年齢は、起算日となっている令和7年4月1日現在のものです。また、お名前は敬称略で行政区順に掲載しています。なお、10月5日開催の『令和7年飯舘村敬老会』については75歳以上の方に招待状をお送りしています。敬老会の様子は広報いいたて11月号でお伝えします。

104歳	女性	坂本チヨ	伊丹沢
104歳	女性	荒 二三子	飯樋町
103歳	女性	田村マツヨ	伊丹沢
102歳	男性	今野義實	前田・八和木
101歳	女性	佐藤ハルヨ	前田
100歳	女性	横田フミエ	草野
100歳	女性	齊藤マツヨ	深谷
100歳	女性	佐藤フミヨ	伊丹沢
100歳	女性	五百川ミツ子	蕨平
99歳	女性	横山キクヨ	草野
99歳	女性	庄司ヤイ子	伊丹沢
99歳	女性	小林ハル子	小宮
99歳	女性	佐藤ヨシノ	八木沢・芦原
98歳	女性	菅野ウメノ	伊丹沢
98歳	女性	高橋キヨ子	小宮
98歳	女性	長谷川トメノ	宮内
98歳	女性	菅野千代子	比曽
98歳	女性	杉上キイ	蕨平
97歳	女性	高橋ヤヨイ	草野
97歳	女性	渡邊きみ子	小宮
97歳	男性	志賀正二	小宮
96歳	女性	木幡トヨノ	伊丹沢
96歳	女性	長谷川キミノ	伊丹沢
96歳	女性	伊藤八重子	伊丹沢
96歳	女性	高橋保子	小宮
96歳	女性	北山ミツ子	飯樋町
96歳	女性	赤石澤イハ枝	飯樋町
96歳	女性	村上エイ子	上飯樋
95歳	女性	市澤ナヲ子	深谷
95歳	女性	庄司ミイ子	伊丹沢
95歳	女性	菅野重子	伊丹沢
95歳	女性	末永ケサ	伊丹沢
95歳	女性	高橋チイ	伊丹沢
95歳	女性	佐藤ユキイ	大倉
95歳	女性	郡 玲子	大倉
95歳	女性	北山フヨノ	飯樋町
95歳	女性	荒 コフ	飯樋町
95歳	男性	佐藤利雄	前田・八和木

95歳	女性	藤井喜江	上飯樋
95歳	男性	菅野武治郎	比曽
95歳	女性	嶋原ワカ子	長泥
95歳	男性	佐藤正清	関根・松塚
94歳	女性	横山アキ子	草野
94歳	女性	菅野ツメヨ	伊丹沢
94歳	女性	山田トシ子	伊丹沢
94歳	女性	高橋圭子	伊丹沢
94歳	女性	星 ミサヨ	伊丹沢
94歳	女性	星 富枝	伊丹沢
94歳	女性	田村スズエ	伊丹沢
94歳	女性	伊東キヨ	関沢
94歳	男性	小林利雄	関沢
94歳	女性	酒井マサ子	小宮
94歳	女性	半澤ミヤ子	八木沢・芦原
94歳	男性	大内清忠	佐須
94歳	男性	佐々木謹一	佐須
94歳	女性	赤石澤秀子	飯樋町
94歳	女性	小林トヨ子	前田・八和木
94歳	女性	渡邊ハルミ	前田・八和木
94歳	女性	久保内スミ子	大久保・外内
94歳	女性	高橋トキ子	上飯樋
94歳	女性	桑折トシイ	上飯樋
94歳	男性	菅野 安	比曽
94歳	女性	菅野フクノ	比曽
94歳	男性	高橋與吉	長泥
94歳	女性	菅野ヨシ	長泥
94歳	女性	佐藤カヨノ	二枚橋・須萱
93歳	男性	中野幸夫	草野
93歳	男性	渡部清長	草野
93歳	女性	末永キク子	深谷
93歳	女性	庄司登美子	伊丹沢
93歳	女性	西川ハツ子	伊丹沢
93歳	女性	原田ミツヨ	伊丹沢
93歳	女性	佐藤シツエ	伊丹沢
93歳	女性	松下フジイ	伊丹沢
93歳	男性	菅野吉雄	小宮
93歳	女性	小山田廣子	小宮

93歳	女性	森 京子	八木沢・芦原
93歳	女性	阿部ヤス子	佐須
93歳	女性	横山ヨシ子	前田・八和木
93歳	女性	佐藤仲子	前田・八和木
93歳	女性	高橋スエ	上飯樋
93歳	男性	細川太壽	上飯樋
93歳	女性	佐藤ユキ	上飯樋
93歳	女性	中島美子	比曽
93歳	男性	須藤浪男	比曽
93歳	女性	須藤トヤノ	比曽
93歳	男性	菅野百二	比曽
93歳	女性	菅野カネヨ	長泥
93歳	女性	今野トクエ	蕨平
93歳	女性	今福ミツ井	白石
93歳	男性	長谷川利治	前田
92歳	男性	坂本 仁	草野
92歳	女性	青山アイ子	草野
92歳	男性	井上家治	深谷
92歳	女性	齋藤美代子	深谷
92歳	女性	菅野キミ子	伊丹沢
92歳	女性	高橋安子	伊丹沢
92歳	女性	志藤 林	伊丹沢
92歳	男性	井上義廣	関沢
92歳	女性	小林マサ子	関沢
92歳	女性	三輪榮子	関沢
92歳	女性	高橋トシ	小宮
92歳	女性	菅野キミヨ	小宮
92歳	女性	高野智偉子	大倉
92歳	女性	阿部泰子	佐須
92歳	女性	阿部シゲノ	宮内
92歳	女性	中川あい子	宮内
92歳	女性	西川ツネ子	宮内
92歳	女性	石井ハナ	飯樋町
92歳	女性	渡邊幸子	飯樋町
92歳	男性	菅野重光	飯樋町
92歳	女性	赤石澤ハルノ	前田・八和木
92歳	女性	遠藤弘子	前田・八和木
92歳	女性	長正ハツノ	大久保・外内

92歳	女性	志賀タケ子	上飯樋
92歳	女性	細川ハツミ	上飯樋
92歳	男性	大澤一穂	上飯樋
92歳	女性	大谷タニ子	上飯樋
92歳	女性	菅野タカ	長泥
92歳	女性	五百川晴子	蕨平
92歳	男性	圓谷儀一	蕨平
92歳	男性	佐藤 萬	白石
92歳	男性	山岸登喜男	白石
92歳	女性	浦住叔子	前田
92歳	女性	佐藤一子	二枚橋・須萱
91歳	女性	佐藤ミツイ	草野
91歳	女性	花井キヌヨ	伊丹沢
91歳	女性	山田貴美子	伊丹沢
91歳	女性	菅野 拾	伊丹沢
91歳	女性	飯畑ハナ子	小宮
91歳	女性	濱名榮子	八木沢・芦原
91歳	女性	佐藤歌子	八木沢・芦原
91歳	女性	大槻美奈	大倉
91歳	女性	佐藤方子	大倉
91歳	男性	佐々木金男	佐須
91歳	男性	大内直美	佐須
91歳	男性	北原 昇	宮内
91歳	女性	熊川ハル子	飯樋町
91歳	女性	佐藤トリ	飯樋町
91歳	女性	原田ミツ子	飯樋町
91歳	女性	高橋タカヨ	前田・八和木
91歳	男性	只野 俊	前田・八和木
91歳	女性	高橋貞子	前田・八和木
91歳	女性	齋藤カツ子	上飯樋
91歳	男性	清水利一	蕨平
91歳	女性	中野スイ子	蕨平
91歳	女性	高田ヨシ子	関根・松塚
91歳	女性	佐藤ハツ子	白石
91歳	男性	林 淳	白石
91歳	男性	花井正志	前田
91歳	女性	高橋セツ子	二枚橋・須萱



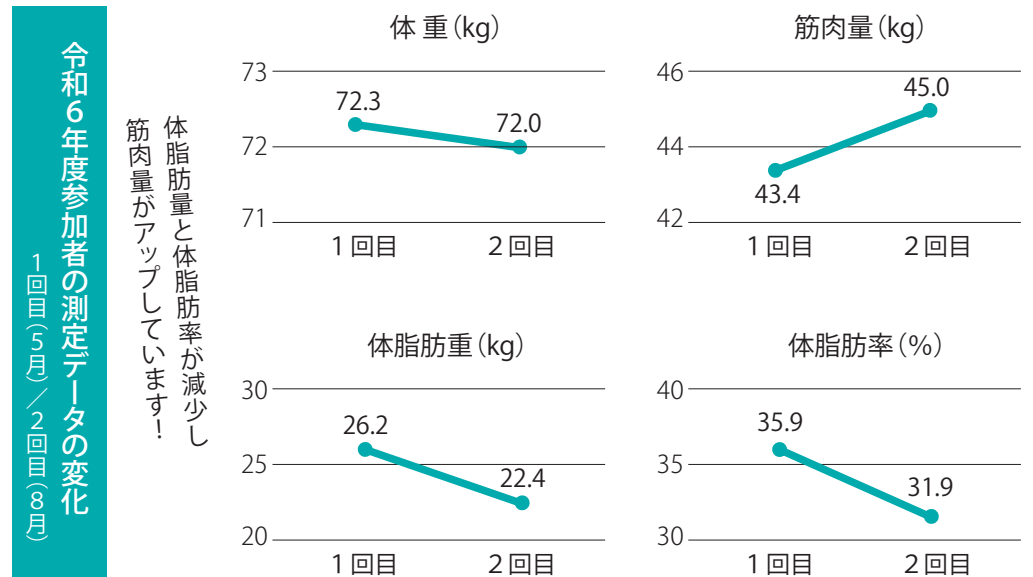
長寿番付のお名前は旧字体を常用漢字で表記しています。ご了承ください。

「いたいのいたいの飛んでけ!運動塾」

村は、BMI25以上の肥満が男女共に増加傾向にあり、男性の2人に1人、女性は3人に1人が肥満です。(第3期国保データヘルス計画より)肥満は、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病や多くの疾患のもととなります。また、膝や腰に負担がかかり、膝痛・腰痛の原因になります。

村は、これらの状況を踏まえ、令和3年度から、BMI25以上の方を対象に、『いたいのいたいの飛んでけ!運動塾』を開催しています。

令和6年5月から8月までに開催した運動塾の参加者のデータの変化を見ると、以下のような結果でした。体重はほとんど変わりませんが、筋肉量が増えて体脂肪量が減り、体組成がよくなっていました。



7年度後期の運動塾を開催します!

令和7年度後期の『いたいのいたいの飛んでけ!運動塾』を以下のとおり開催します。運動の効果をぜひ実感してください。お待ちしております。

- 対象者…年齢が75歳未満で健診結果が肥満(BMI25以上)の方
かかりつけ医から運動が禁止されていない方
- 日 時…10月9日から12月25日まで(毎週木曜日午前 / 全12回)
- 会 場…交流センター「ふれ愛館」
- 参加費…無 料

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

※国民健康保険加入者で健診結果BMI25以上の方については、9月上旬に個別に通知します。
社会保険加入者で参加したい方はご連絡ください。ただし健康診査を受けている方に限ります。

『いたいのいたいの飛んでけ!運動塾』では、「ストレッチ」「筋力トレーニング」「有酸素運動」の3種類の運動を行っています。参加者の皆さん一人ひとりの体の状態に合わせて、回を重ねるごとにステップアップしていけるようなメニューづくりを心がけています。

運動塾講師の
滝口先生にお話を
聞きました!



YAGOメディカル
フィットネスクラブ
滝口義光 先生

「膝が痛いから自分には無理だ」「もう年だからできないよ」。そんなお声をたくさん聞きます。しかし、車をずっと放置しているとエンジンがかからなくなるように、人間の体は動き続けないと、能力がどんどん低下してしまいます。

とが大切です。この運動塾では、「どうしたらできるか」を皆さんと一緒に考え、よりよい方法をお伝えできればと思っています。この運動塾に参加される一人ひとりが元気に過ごせる未来を創るために、これからも愉快に運動指導をしていきます。興味のある方は、ぜひご参加ください!

但野正行さん(草野)

運動しなきゃと思うけれど何から始めれば…と思っていたところ、この運動塾を知って参加しました。どんなことに気をつけて運動すればいいのかわかり、効果的な運動方法を教えてもらえます。3か月ほど経った頃から、体重が減り、効果を実感する瞬間が増えて、モチベーションにもつながりました。今は自分の生活のルーティーンに落とし込んで、自宅でも継続して運動しています。

佐藤米子さん(上飯樋)

昨年から自分の体のことを意識するようになって、この塾に参加しました。今まで「走る」ことがほとんどなかったのですが、この塾をきっかけに、運動の1つとして習慣になりました。運動だけでなく、普段の食生活で気をつけることなども教えてもらえます。この塾に通ってから、何となく体が軽くなったように感じます。一緒に運動する仲間もできて、とても楽しいです。

高橋 誠さん(飯樋町)

この塾に通ってから、健康診断の結果やBMIの数値がよくなっていったり、体重が減少したりと、数字で結果が出てきてうれしいです。この塾では、体のどこを鍛えるか、その運動にどんな効果があるかなどを丁寧に教えてくれて、それらを意識しながら運動ができます。村民みんなが元気に過ごすことが、村の未来にもつながると思います。ぜひいろいろな人に参加してもらいたいです。

参加者の声

私たちはこんなに元気になりました!

「いいたてオリンピック」は、タイタンビカスの一種で、夏の間、大輪の赤い花を次々に咲かせます。園芸企業『赤塚植物園』（本社・三重県津市）が開発し、東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせて村を彩ろうと命名しました。当時イベントなどで苗が配布されたこともあり、多くの家庭や地域で今も大切に育てられています。写真は久保・外内地区の花畑。地区の皆さんが丁寧に手入れを続け、大きく育った株にたくさんの花が咲き、色鮮やかな景色が広がっていました。





飯舘村勤労者互助会が賞品を提供した『子どもじゃんけん大会』。村の子ども達がたくさん参加しました。

道の駅までい館で『いいたて夏まつり』を開催！

8月3日、いいたて村の道の駅までい館にて、毎年恒例の『いいたて夏まつり』が開催されました。

会場には村の特産品やグルメの販売ブース、村内事業者による体験コーナーがずらりと並び、震災前から交流のある春日部市のブースも出店。村内外から多くの人々が来場し、にぎわいました。いいたてフクラブや福島もも娘などによるステージ、バンド演奏など、パフォーマンスも盛りだくさん。全員参加のビンゴ大会も行われ、老若男女を問わず、大変盛り上がっていました。

飯舘村森林組合が村に要望書を提出

7月25日、飯舘村森林組合（佐藤長平組合長／宮内）が役場を訪れ、村に要望書を提出しました。

今回提出された要望書は、「広葉樹林再生事業による伐採後の萌芽整理への支援」として、きのこ原木林の再生を図っていくために、森林環境譲与税による補助の創設や、独自の支援策の展開について、村の協力を求めるものです。

佐藤組合長が代表で要望書を提出し、「森林所有者の経営意欲の喚起や負担軽減のためにも、ぜひ検討いただきたい」と要望しました。



飯舘村森林組合の役員の皆さんが出席。佐藤組合長が代表で、杉岡村長に要望書を手渡しました。



課題に対する具体的な取り組み、行政と村民が共に進める村づくりなどについて、真摯な議論が続きました。

飯舘村振興計画審議会を開催しました

8月6日、村役場で、『第2回飯舘村振興計画審議会』を開催しました。

令和8年度から10年間の村の指針となる「飯舘村第7次総合振興計画」について、策定専門部会及び策定委員会によりまとめられた案が示され、鈴木典夫委員長（福島大学）、西尾ツネ副委員長（農業委員会／二枚橋・須萱）をはじめとする委員の皆さんが、内容を確認し議論を行いました。また、この計画（案）をもってパブリックコメントを実施することが了承され、パブリックコメントは8月12日から実施されました。

村長杯パークゴルフ大会 青空の下ではつらっプレー

7月27日、『第4回飯舘村長杯パークゴルフ大会』が、いいたてパークゴルフ場で開催されました。晴天に恵まれ、村内外から参加した49人が、互いに声援を送りながら熱戦を繰り広げました。

【男性の部】優勝：菅野久さん（福島市）

準優勝：菅野敬一さん（二本松市）

3位：横井等さん（福島市）

【女性の部】優勝：北原澄子さん（宮内）

準優勝：猪狩幸子さん（福島市）

3位：菅野栄美子さん（福島市）



記念撮影に続いて競技がスタート。優勝を目指し、皆さん笑顔でプレーを楽しんでいました。



県道原町川俣線・深谷地区での清掃の様子です。暑い中、参加者が協力をしてゴミ拾いを行いました。

「道の日」に合わせて 県道原町川俣線の清掃活動

8月10日は、道路の意義や重要性について関心を高めることを目的に制定された「道の日」です。この「道の日」に合わせて、相双建設事務所、道路事業の関連会社、役場建設課などが協力し、毎年道路の清掃活動を実施しています。

今年は8月8日に実施しました。交流センター「ふれ愛館」駐車場で出発式を行った後、県道原町川俣線の清掃を開始。総勢約50人が、長い距離を歩きながら、丁寧にごみを拾って行きました。本活動に感謝し、ごみのポイ捨てをしないよう徹底しましょう。

手話言語条例制定を記念し 県聴覚障害者協会が来庁

「手話は言語である」との認識に基づき、手話の普及をはじめとする障害の特性に応じたコミュニケーション手段の普及促進を図るため、「飯舘村手話言語条例」を定めました。条例の制定に伴い、7月28日に一般社団法人福島県聴覚障害者協会が来村し、条例の制定を祝して記念撮影を行いました。撮影後の懇談では、杉岡村長が、協会の方から「飯舘村長の杉岡誠です」という自己紹介の手話表現を教わりました。読者の皆さんもぜひ、手話を学んでみてはいかがでしょうか。



協会の皆さん、杉岡村長、健康福祉課職員で記念撮影。写真の手話は、「愛しています」という意味です。

道の駅 8 周年記念イベント開催

8月12日、いいたて村の道の駅までい館が8周年を記念して、「お客様感謝祭」を開催。村の農産物を使った商品の特別販売、キッチンカーの出店、ふかや風の子広場では親子参加型のイベントも開催され、多くの人でにぎわいました。1,000円以上の購入者には「道の駅特別記念きっぷ」が配付された他、ガラポン大抽選会では、飯館産黒毛和牛や特産品詰め合わせ、イタネちゃん缶バッジなど村ならではの品々がプレゼントされました。



「つなぐ写真館」笑顔の写真展示

7月20日に、ふかや風の子広場で開催された移住定住イベント「つなぐ写真館」で撮影された写真32点が、8月1日から31日まで、いいたて村の道の駅までい館の正面入口に展示されました。「つなぐ写真館」の開催は通算4回目。元々住んでいる方、最近移住してきた方、村に関心を寄せ訪れている方など、どなたでも参加できるイベントで、プロのカメラマンが村に出張し、とびきりの笑顔を撮影しています。村に集う人の魅力が伝わる写真展となりました。



「ほんの森まつり」本と出会って笑顔で交流

8月2日、交流センター「ふれ愛館」で、いいたてネットワーク主催の『ほんの森まつり』が開催されました。震災前まで営業していた村営書店「ほんの森いいたて」のように、「本との出会いを楽しみ、子どもも大人も集まれる場をもう一度つくりたい」という思いで開催されました。当日は県内外からさまざまな書店が出店し、古本の販売を行った他、絵本の読み聞かせ、飯館村の昔話や民話の語り、ブックカバーやしおり作成のワークショップなど、「本」を通じた催しが盛りだくさん。「この本懐かしいね」「こんな本を探していたの」と和やかな雰囲気では話が交わされていました。



阿部さんのヒマワリ 今年も見事に咲きました

7月末から8月にかけて、阿部勝男さん(佐須)のヒマワリ畑が見頃を迎えました。阿部さんは、およそ220aの見事なヒマワリ畑を毎年無料で開放していて、今年も早朝から草刈りをして見学者を迎え入れていました。連日、遠方からも多くの人を訪れ、散策や写真撮影を楽しんでいました。



関根・松塚行政区が焼肉懇親会

8月3日、あいの沢キャンプ場に関根・松塚行政区の住民が集まり、焼肉懇親会を開催しました。「若い人達にもふるさとへの思いを持ち続けてほしい」という願いを込めて、交流を深めようと開催されたものです。

子ども達や若い世代が多数集まり、それぞれが世代を超えた交流を楽しんでいました。焼肉には精肉店「肉のゆーとびあ」の牛肉が使用され、地元産の食材の美味しさを、皆で心ゆくまで味わいました。



上飯樋音楽フェスと区民の集い

7月27日、上飯樋集会所で、「13区を考える会」主催の「上飯樋音楽フェス」が開催されました。いいたてフラクラブのフラや、区民で構成する「13区楽団」の演奏が披露された他、村民歌の合唱や飯館小唄踊りなどに、会場が一体となって盛り上がりしました。会場の外では「ひもろぎプロジェクト」メンバーによる焼きそばやかき氷のふるまい、カブトムシのプレゼントなどが行われ、幅広い年代の住民が集い、笑顔があふれていました。



「長泥友の会」が設立総会を開催

『長泥友の会』が、8月24日、長泥コミュニティセンターで会の設立総会を開きました。地区の再生を目指し共同作業に力を合わせてきた皆さん。「これからは交流やスポーツ、行楽などを通して“生きがい”を得ていこう」と、嶋原良友さんの呼びかけで36人が入会しました。早速パークゴルフの練習会などが行われる予定で、会長に就任した嶋原さんは「会員を引き続き募集し、今後の活動内容は、皆と相談しながら決めていきたい」と話していました。会は年度末の行政区総会で承認を得て、正式な発足となる予定です。



キバナコスモスの花畑が満開に

8月下旬、「いいたて村の道の駅までい館」前の花畑が、オレンジ色に染まりました。満開を迎えたキバナコスモスです。道の駅の正面には、紅白の日々草も並んで咲いて、一面に鮮やかな景色が広がりました。

この花畑は、飯舘村振興公社の皆さんが、栽培と管理を担っています。猛暑に負けず、美しい花畑をつくり上げました。

厳しい残暑も吹き飛ばすような花景色は、県道に行くドライバーの目も楽しませています。



雪っ娘ファンクラブが村内の畑でボランティア

上品な甘さとはっきりした食感が特長の「いいたて雪っ娘」は、菅野元一さん(宮内)が育種したカボチャのオリジナル品種です。震災を越えてその種をつないできた渡邊とみ子さん(前田・八和木)の畑で、8月中旬、「雪っ娘ファンクラブ」の皆さんが、2日間にわたり“へそ取り”や保護材の設置を手伝いました。ファンクラブの皆さんとは10年ごしのお付き合い。今回は9月に2泊3日で来村し、収穫作業を手伝うそうです。



震災を機にとみさんの取り組みを知り、関東圏から毎年訪れるファンクラブの皆さん。「レンチンだけで料理になる」と雪っ娘の特別なおいしさに惚れ込んでいます。



農家民宿「古今呂の宿 福とみ」を営むとみ子さん。雪っ娘の新芽や花、未熟な小さな実さえも、天ぷらやマリネで、余す所なく、おいしく提供しています。



いいたて雪っ娘

2025スーパーカーフェスティバル

8月24日、いいたて村の道の駅までい館にて、「Village Future Group」(長谷川芳博代表/福島市)主催のイベント『2025スーパーカーフェスティバル』が開催されました。今回で5回目の開催です。会場いっぱいに約60台のスーパーカーやクラシックカーが展示され、県内外から約5,000人が来場しました。会場では山木屋太鼓(川俣町)の演奏が行われた他、動物と触れ合うコーナーやキッチンカーも人気を集めました。イベント終盤では、スーパーカーが走り去る様子を一目見ようと、会場前の道路に多くのファンが並び、手を振りながらスーパーカーを見送りました。



にぎやかに『飯樋豊年盆踊り』

8月14日、飯樋町集会所で『飯樋豊年盆踊り大会』が開催され、約180人が集いました。飯樋4行政区合同の「豊年盆踊り実行委員会(渡邊富士男実行委員長/飯樋町)」の主催。盆踊りに先立ち、バンド演奏やカラオケ大会も行われました。お囃子が鳴り始めると、地元の皆さんが自然に踊り出し、続いて来場者も踊りの輪に加わりました。子どもからお年寄りまでお囃子に合わせて「よいしょ!」と掛け声。最後までにぎやかに踊りの輪が広がりました。



草野行政区が夏の交流

8月10日、草野行政区の集会所で、地域住民の交流会が行われました。あいにくの雨模様で「第4回草野行政区夏まつり」が中止となったため、屋内に会場を移して交流会を行いました。帰省をしている住民の参加もあり、焼きそばや焼き鳥のふるまい、お菓子釣りなどを楽しみながら久しぶりの再会を喜ぶ様子が見られました。後半には太鼓や笛で盆踊りのお囃子が披露され、懐かしく温かい音色とリズムに、参加者が顔をほころばせました。



飯舘村第7次総合振興計画 パブリックコメントを実施しました

飯舘村第6次総合振興計画の計画期間が令和7年度末で終了することから、昨年度より飯舘村第7次総合振興計画の策定を行っております。

8月初旬、飯舘村第7次総合振興計画の一定の方向性が決定し、8月12日から9月3日まで、飯舘村第7次総合振興計画(案)のパブリックコメントを実施しました。実施については、お知らせ版とホームページで告知を行い、計画(案)に対する意見を広く募集しました。ご協力をありがとうございました。

お寄せいただいた意見については、飯舘村第7次総合振興計画策定委員会及び飯舘村振興計画審議会で協議し、計画(案)への反映について検討します。質問への回答などは、一連の協議の結果をふまえて、村のホームページで公表する予定です。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

飯舘村議会議員一般選挙 皆さんの1票を投じてください

任期満了に伴う飯舘村議会議員一般選挙が次のとおり執行されます。飯舘村とあなたの未来を決める大切な選挙です。棄権せずに投票しましょう。

投票日 9月21日(日)

- 飯舘村役場 午前7時～午後6時
- いいの交流館 午前7時～午後6時

期日前投票(会場によって日時が異なります。ご確認ください)

- 飯舘村役場 9月14日(日)～9月20日(土) 午前8時30分～午後8時
- サンライフ南相馬 9月20日(土) 午前9時～午後6時
- いいの交流館 9月20日(土) 午前9時～午後6時



飯舘村HP

※詳しくは村ホームページまたは同封の「選挙のお知らせ」をご覧ください。

問 飯舘村選挙管理委員会(村役場総務課内) ☎0244-42-1611

8月の村の動きと主なできごと

- 1日～31日・「つなぐ写真館」写真展(いいたて村の道の駅までい館)
- 2日・いきいきわくわく学びの旅 第2回事前研修・結団式(交流センター「ふれ愛館」)
- ・いいたてナイター駅伝(いいたてスポーツ公園)
- 3日・いいたて夏まつり(いいたて村の道の駅までい館)
- 5日～8日・いきいきわくわく学びの旅(北海道栗山町・札幌市他)
- 6日・第2回飯舘村振興計画審議会(村役場)
- 7日・行政区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 8日・道路ふれあい月間道路清掃奉仕作業(交流センター「ふれ愛館」/県道原町川俣線)
- 9日～11日・移住定住「暮らし体験ツアー」(村内各所)
- 12日・いいたて村の道の駅までい館8周年感謝祭(いいたて村の道の駅までい館)
- 12日～9月3日・飯舘村第7次総合振興計画パブリックコメント(村役場他)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- ・令和7年度第1回固定資産評価審査委員会(村役場)
- ・定例教育委員会(福島市・アクティおろしまち)
- 22日～9月5日・9月議会定例会(議場)
- 23日・いきいきわくわく学びの旅 第1回事後研修(交流センター「ふれ愛館」)
- 31日・カヌー体験交流会(北塩原村・秋元湖)

いいたて村文化祭 作品を大募集! 学校用具の展示にもご協力を

村では、今年も総合文化展をメインとした「いいたて村文化祭」を開催します。作品展示は10月23日から同29日の7日間で、同26日には各団体が出店するイベントも開催します。

総合文化展には、例年多くのグループ・団体・個人から、多様なジャンルの素晴らしい作品を出品いただいています。幅広い世代から、一人でも多くのご参加をお待ちしています。初めての方もぜひお気軽にご参加ください。

- 日 時…10月26日(日)
- 作品展示期間…10月23日(木)～10月29日(水)
- 会 場…交流センター「ふれ愛館」
- 主 催…いいたて村文化祭実行委員会

総合文化展の中で「いいたてむらの学校」と題して特別展示を行い、懐かしの「学校用具等」を展示します。

展示の充実を図るため、各家庭にある「学校に関する古いもの(教科書・用具・制服等)」を募集します。ぜひご協力をお願いします。

- 収集方法…交流センター「ふれ愛館」に連絡後、持参または引き取り
- 募集期間…10月17日(金)まで

問 生涯学習課(交流センター「ふれ愛館」) ☎0244-42-0072

常にチャレンジ! モノづくりの楽しさ、働きやすさを大切に

株式会社ハヤシ製作所



カメラレンズの基幹部品や医療用・産業用精密機械を主力製品とし、他にもアルミニウムやステンレスの加工などに事業を拡大しています。「常にチャレンジ。時代の変化が速いですから」と林武志代表取締役。蓄積してきた技術力を活かし、新たな分野にも挑戦を続けています。

社員は現在74人。村内外から幅広い年代の社員が通勤していて、海外出身の技能実習生も20人程受け入れています。「実習生も同じく技術を学んでもらっています。地域に非常に熱心です。地域のイベントにも積極的に誘い、地域に馴染んでも



ロボットを導入し自動化も進めています。



製品の検査。品質と信頼を支えます。

られればと取り組んでいます。同社は社宅や社員寮も整備し、実習生の暮らしをサポートしています。また、社員全体の働き方も大切にしています。例えば家庭の都合で急に休まなければならぬ時も気兼ねをせずに相談できる雰囲気づくり。「部署ごとにサポート体制ができていて、社員が互いの生活を尊重できる、子育て中の人にも働きやすい職場になっていると思います」。

また同社は、村や村の子ども達への支援も積極的に行っています。「ここまでやっ

株式会社ハヤシ製作所
飯館村白石字町25
☎0244-42-0134

※求人については直接同社にお問い合わせください。

作業工程ごとに建物やスペースが分かれていて、それぞれ専用の大型機械が並んでいます。整頓の行き届いた広い工場でいきいきと働く社員の皆さん。



10年後への手紙

歴史の散歩道

飯館村・大館村の2村が合併し、飯館村が誕生したのは昭和31年(1956年)9月30日のこと。この日が飯館村の誕生日です。平成18年(2006年)には、9月30日に「立村50周年記念祭」が開催され、記念事業も実施されました。その一つが、『Dear大切な人』10年後のあなたへ』と公募で命名された事業です。50周年の節目に合わせ、大切な誰かに宛てて、10年後に届く手紙を書いてみようという趣旨の事業で、オリジナルデザインの記念切手と村の風景を描いた手紙セットが販売されました。手紙は10年間大切に保管され、平成28年(2016年)9月に、郵便局から配達されました。

平成28年は、19行政区の避難指示解除を翌年に控えていました。7月1日に、役場機能が避難先から村内の本庁に戻り、村制60周年の記念イベント「いいたて60祭」は、完成したばかりの交流センター「ふれ愛館」で、9月25日に開かれました。そして無事に「10年後への手紙」が配達され、平成28年10月からは『続・10年後への手紙』の募集がスタートしました。オリジナル切手の販売とレターセットの無料配布も行われました。



第2弾「続・10年後への手紙」の投函用に村役場の窓口に設置された専用ポスト。(平成28年10月)



郵便料金の改定に伴い加算分の切手を貼って「10年後への手紙」を発送。(平成28年9月)

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

世界アルツハイマーデー

9月21日は世界アルツハイマーデーです。交流センターでは、認知症に関する本を掲示しておりますので、認知症への理解を深めるためにもぜひ手に取って読んでみてください。

塾生を募集しています!

『わくわく農業体験塾』

赤石澤備さん(上飯樋)の指導のもと、飯樋地区の圃場で野菜を育てている『わくわく農業体験塾』。今後は、秋にサツマイモの収穫、冬に大根と白菜の収穫を予定しています。興味がある方はぜひご参加ください。詳しい内容については、生涯学習課(交流センター「ふれ愛館」☎0244-42-0072)へお問い合わせください。



さまざまな交流と学びを
村政に活かしていきます

第35回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ



夏真っ盛りの葉月、私も塩飴や冷却スプレーが手放せず、飯館らしからぬ酷暑との戦いとなったひと月でした。

広報委員からの提言もあり、今月からコラムの趣きを変え、エッセイ風にしてまいります。どうぞお付き合いましたら幸いに存じます。

8月23日、原町青年会議所が創立55周年の節目を迎えられ、式典に出席させていただきました。これまでの永きにわたる地域社会に対するご貢献に敬意を表しますとともに、さらなるご発展を願ってやみません。皆が知恵を出し合い、地域社会のために何ができるか切磋琢磨する姿は尊く、また力となるものです。

そうした折、23日・24日に「全国若手町村長会」の研修が山形県西川町にて開催されました。49歳までに当選した全国の町長・村長による「全国若手町村長会」が発足したのは、令和5年（2023年）のこと。首長という立場でしか分からない様々な課題を共有し学び合う、貴重な場です。私もお昼時間のWEB勉強会を含めて、参加させていただいております。広域かつ多数の自治体の町村長が参加しており、時に忌憚のない本音トークが飛び出すこともあります。

会に参加されている首長さんに共通するのは「ふるさと」のことが大好きで、想いが強いこと。各々の地にルーツを待ち、熱くたぎる熱意が根底にある方ばかりで、自分と同じような想いを持った方々との交流は、いつも大きな刺激と共に、安堵と共感を覚えます。

こうした場で得た知見や学びを村政に活かしていくように、今後も努めてまいります。

飯館村の「ふるさと住民制度」をご存知ですか

飯館村には1,000人を超える応援団がいます！



右端のカードのイラストはイラストレーター・わたせせいぞう氏の作品。

「ふるさと住民制度」とは、居住地以外の自治体に、「ふるさと住民」として登録ができる制度。登録すると「ふるさと住民カード」が発行され、各自治体の定めるサービスが提供されます。シンクタンク「構想日本」の提唱で平成27年度から各地で取り組みが始まり、村は平成30年度からこの制度を導入しています。

飯館村の「ふるさと住民」登録者は、令和7年8月現在1,085人。そのうち県内が387人、県外が698人（海外6人を含む）で、新たな登録も続いています。

村は、この貴重なつながりを深めようと、今年度から、メールマガジン「飯館村つながる便り」のメール配信をスタート。年度内に「ふるさと住民」向けのイベントも開催する予定です。なお、飯館村の「ふるさと住民カード」はデザインが3種類あり、登録時に好きなデザインを選ぶことができます。

皆さんが広報委員！
いいたて **PHOTO** リレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



撮影 原田直志さん（深谷）
テーマは「幸せを運ぶ鳥」



「8月15日に仕事で小宮に向かっている途中、関沢でたまたま見かけたんです。最初はツルかと思って撮影をしたのですが…。原田さんがたまたま見かけた2羽の鳥は、『幸せを運ぶ鳥』として知られるコウノトリでした。

「動物好きの友人に聞いてみたところ、“コウノトリだと思う。2羽が近くにいるならつがいではないか”と言われて驚きました。飯館村でコウノトリを見かけることは珍しく、記録として撮影し、すぐ役場にも連絡しました」。ヨーロッパでは『赤ちゃんを運んで来る鳥』と言われますが、日本でも『豊穰・繁栄の前兆』と言われているそうです。村の豊かな自然や、村での新たな出会いを祝福するために、遊びに来てくれたのかもしれないね。



10月号
9/17締切
例えば…「お月見」「キンモクセイ」「敬老」「食欲の秋」をテーマに。

11月号
10/15締切
例えば…「紅葉」「ハロウィン」「スポーツ」「読書(本)」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。
- 報酬 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係（広報担当：巻野） ☎0244-42-1613

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

HAPPY WEDDING!



氏 名	行政区
小 泉 悠 さん	関 沢
齋 藤 涼 花 さん	
林 田 和 希 さん	八木沢・芦原
石 黒 優美佳 さん	
万 福 大 輔 さん	白 石
西 岡 みのりさん	
野 田 潤 さん	大久保・外内
安 齋 静 香 さん	

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
須 藤 ミツ子 さん	84	比 曾
清 野 スキノ さん	94	小 宮
高 橋 平 作 さん	87	小 宮
大 谷 八 郎 さん	99	上飯樋
佐 野 富 雄 さん	74	前田・八和木
八 巻 梅 子 さん	74	草 野
樋之口 清 秋 さん	89	草 野
高 橋 宏 宜 さん	56	草 野
佐 藤 のり子 さん	66	深 谷
佐 藤 フサ子 さん	71	関根・松塚

ご冥福をお祈り申し上げます



（7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ひとのうごき 令和7年8月1日現在

人 口	今月（前月比）	7月1日～31日までの人口動態
●男	2,254人（+3）	転入 5人
●女	2,169人（-7）	転出 2人
計	4,423人（-4）	出生 1人
世帯数	1,800戸（+3）	死亡 7人
		（住民基本台帳人口）

ランチ営業に笑顔集う『食事処 柿の木』(旧川竹) 村民に愛された名物料理に舌鼓



食事処 柿の木
 飯館村草野字大師堂 30
 ☎090-4630-4724
 午前 11 時～午後 1 時ラストオーダー
 夜の利用や貸切は応相談
 定休日 木曜日・日曜日

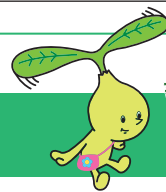
川里佐和「さん(草野)」が営んでいたレストラン『川竹』は 40 周年を目前に震災で閉店しましたが、何年経ってもその味を懐かしむ声が絶えない人気店でした。今から 3 年程前、食した柿の種を何気なく植木鉢に蒔いた川里さん。1 本だけ芽吹いた苗を大切に育て、やがてその苗が花壇に根付いた時、「もう一度店を開けようという気持ちになつていった」そうです。新しい店名も『柿の木』としました。

川里さんは自力で厨房を改修。同級生の佐藤昇さん(草野)が開店準備をあれこれと手伝ってくれました。テーブルの天板など旧店舗で使っていた物も店づくりに活かしました。

調理の勘を戻すまでが大変でしたが、それだけに「昔と変わらない味だ」は一番のほめ言葉。「1 日に数人でも来た人が喜んでくれればそれでうれしい」と川里さん。その確かな腕で新たなファンも獲得しています。



往年の人気メニューから生姜焼き・ナポリタン・クリームソーダ。精肉店「肉のゆーとびあ」の牛肉を使った牛丼や、ステーキ(要予約)もメニューに加わりました。新メニューは何度も試作し味を確かめます。「寒くなったら鍋焼きうどんもいいね」。味わう人の笑顔を思い浮かべてメニューを練る川里さんでした。



新登場! とってもキュート!
イイタネちゃんダルマ

飯館村の公式キャラクター「イイタネちゃん」をモチーフに。「道の駅までい館」限定販売のキュートなダルマは、江戸時代から続く白河だるまの工房「白河だるま総本舗」謹製の伝統工芸品。S・M サイズ共にケース入りで、表情や模様が少しずつ違っているのも手づくりならではの魅力。



〈編集後記〉

浴衣姿の子ども達や、久々の再会を笑顔で迎える人々、やっぱり地域のお祭りはいいものですね。参加者の中に一人、仮装をしている人を見かけ、震災以前行われていた飯桶盆踊りの仮装行列の思い出が溢れてきました。私もゲゲゲの鬼太郎やらハリーポッターやいろいろ仮装をしていたものです。あの頃の賑わいに少しづつ戻ってきています。今年参加できなかった皆さんも来年はぜひご参加ください! (巻野)

暑い夏になりました。民家の庭先や地域の花壇が夏の花に彩られ、アイデアいっぱい催しには大勢の人。関わる皆さんの思いも熱い夏でした。「学びの旅」で北海道を訪れた子ども達が菅野牧園の菅野さんに「あるものさがし」で飯館村の素敵な所が見つかるかと教わりました。見渡せばどれも宝物に思えて…あるもの私も大切にしたいです。(星)